


作成日 : 2020 年 2 月 14 日
改訂日 : 年 月 日

安全データシート

【1. 製品及び製造者情報】

製品名 : iMAS モデル W
会社名 : YAMAKIN 株式会社
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
電話番号 : 06-6761-4739
FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類 : 未分類
物理化学的危険性 : 引火性あり、火気厳禁
健康に対する有害性 : 皮膚に触れると炎症する恐れあり。
ラベル要素
・表示 : 
・注意喚起語 : 警告
・危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
注意書き
・安全対策 : 取扱中は、皮膚に触れないように注意し、適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレー、粉塵、ヒュームの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・応急措置 : 物的被害を防止するために流出したものを拭取ること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズ着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断、手当てを受けること。
・保管 : 容器を密閉し、直射日光を避けた換気の良い場所で保管すること。
火気の近くでの保管は避けること。
・廃棄 : 内容物及び容器は地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

【3. 組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : アクリル系光硬化性樹脂

成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有量(%)	CAS No.
アクリレートオリゴマー	—	90～98	—
光重合開始剤	—	2～10	—

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、暖かく安静にすること。状況によって医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を多量の水及び石鹸水で洗浄すること。
- 眼に入った場合 : こすらずに直に清浄な水で最低 15 分間目を洗浄すること。状況により医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水又は食塩水を飲ませて吐き出させ、直に医師の診断を受けること。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 泡沫、乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
適切な保護具を着用する。
消火活動は風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- ・ 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
処理が終わるまで十分な換気を行う。
風上から作業をし、風下の人を退避させる。
漏出した製品が、下水、排水溝、低地に流出しないように注意する。
- ・ 環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- ・ 封じ込め及び浄化の方法／機材 : 漏出原を遮断し、漏れを止める。
少量の場合は盛土で囲って、流出を防止してから処理する。
- ・ 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

- ・技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- ・安全取扱注意事項 : 眼、鼻、皮膚への接触を防止し、取扱い後には手や顔をよく洗う。換気の良い場所で行う。
- 接触回避 : 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 保管
 - ・保管条件 : 「10.安定性及び反応性」を参照。
直射日光、高温多湿な場所を避ける。
換気のよい場所で密封保管する。
冷所（指定保管温度がある場合はその温度）及び暗所にて保管する。
- ・容器包装材料 : 消防法、毒劇法、国連輸送法規定等適用法令の定めるところに従う。
包装形態のまま、保管する。ほかの容器に移さないこと。

【8. ばく露防止及び保護措置】

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2019年版) mg/m ³	ACGIH (2019年版) mg/m ³
アクリル系モノマー	—	—	—
光開始剤	—	—	—

- ・日本産業衛生学界 : 設定されていない。
- ・ACGIH(TLA-TWA) : 設定されていない。
- 設備対策 : 取扱いについては適切な換気装置を設置した場所で行う。
- 保護具
 - ・呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク又は、送気マスク、自給式呼吸を着用すること。
 - ・手の保護具 : 保護手袋を着用すること。
保護手袋は不浸透性のものを用いること。
 - ・眼の保護具 : 保護眼鏡、状況に応じて保護面を着用すること。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣、状況に応じて保護長靴を着用すること。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など

- ・形状 : 粘調液体
- ・臭い : データなし
- ・融点 : データなし
- ・沸点 : データなし
- ・引火点 : >200°C
- ・比重 : 1.15 (25°C)
- ・発火点 : データなし
- ・爆発範囲
 - 下限 : データなし
 - 上限 : データなし

・溶解性	:	水、アセトンに可溶
・蒸気圧	:	データなし
・蒸気密度	:	>1
・粘度	:	840 mPa・s / 25°C
・pH	:	データなし
・屈折率	:	データなし
・揮発性	:	なし

【10. 安定性及び反応性】

安定性・反応性	:	通常の手扱い条件で安定 光で硬化する。硬化中、反応熱によって高温になる恐れがある。 熱、金属との接触などで発熱、重合を起こす恐れがある。
危険有害反応可能性	:	酸、強アルカリ、酸化剤等と混合した時、反応する可能性がある。
危険有害な分解生成物	:	焼成などにより一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスを生じる。

【11. 有害性情報】

急性毒性（経口）	:	>2000 mg / kg
急性毒性（経皮）	:	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	:	データなし
皮膚腐食性及び刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な 損傷性／刺激性	:	データなし
呼吸器感作性／ 皮膚感作性	:	データなし
生殖細胞異変源性	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的神臓器／ 全身毒性(単回暴露)	:	データなし
特定標的神臓器／ 全身毒性(反復暴露)	:	データなし

【12. 環境影響情報】

生態毒性	:	
・魚毒性	:	データなし
・残留分／分解性	:	データなし
・生態貯蓄性	:	データなし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	:	都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。 処分する時は、ウエスなどに吸着させ、アフターバーナー及びスクラバ
-------	---	--

汚染容器及び包装 : 一を具備した焼却炉で焼却する。
 : 容器は洗浄してリサイクルするか、法規に従って適切な処分を行う。空
 容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【14. 輸送上の注意】

国際規制
 国連番号 : なし
 品名 (国連輸送名) : なし
 品名 (国連輸送名 英名) : なし
 分類または区分 : なし
 容器等級 : なし
 国内規制
 ・陸上輸送 : 消防法等に定められる運送方法に従う。
 ・海上輸送 : 船舶安全法に定められる運送方法に従う。
 ・航空輸送 : 航空法に定められる運送方法に従う。
 特別の安全対策 : 容器の破損、漏れが無い事を確かめ、荷崩れ防止を確実に
 行う。当該規定に従い、包装、表示、輸送を行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法 : 該当しない
 表示物質
 労働安全衛生法 : 該当しない
 通知対象物質
 PRTR 法 : 該当しない
 第 1 種指定化学物質
 PRTR 法 : 該当しない
 第 2 種指定化学物質
 消防法 : 危険物 第四類第四石油類 危険物等級 3
 毒劇法 : 該当しない
 船舶安全法 : 該当しない
 航空法 : 該当しない

【16. その他の情報】

【参考文献】

- ・化審法の既存化学物安全性点検データ集 (日本化学物質安全・情報センター)
- ・GHS 分類結果データベース (独立製品評価技術基盤機構)
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 (2019 年度)
- ・ACGIH – TLVs and BEIs (2019)
- ・安全衛生情報センターGHS モデル MSDS 情報 (中央労働災害防止協会)
- ・緊急時応急措置指針 (日本規格協会)
- ・労働安全衛生法 MSDS 対象物質喘データ (化学公共日報社)
- ・化学品法令集 (化学工業日報社)

- ・危険物船舶運送及び貯蔵規則
- ・15308の化学商品（化学工業日報社）
- ・原料メーカーMSDS

【その他】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。

注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであり特別の手扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品の使用中止、廃棄するまで大切に保管してください。

また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【改訂履歴】

00 2020 年 2 月 14 日 初版